

外部インタビュアー

岡野 秀之



公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部長

1973年横浜市生まれ、北九州市戸畑区育ち。九州大学大学院比較社会文化研究科修了。1997年財団法人九州経済調査協会入社。調査研究部研究主査、主任研究員、総務企画部次長、調査研究部次長、調査研究部長、事業開発部長兼BIZCOLI館長などを経て現職。専門は、地域経済論、産業配置論、地域産業政策論。2014年～2016年版九州経済白書の総論を担当。

大分市のこれまでの取組

1. 大分市豊予海峡ルート調査業務

(1)平成28年度

① 調査内容

- ・豊予海峡ルートの必要性・意義について
- ・トンネルまたは橋梁を整備する場合の費用、経済・社会効果について

【調査結果】

- ・トンネルで新幹線を単線で整備する場合に最も費用便益が高い。

(2)平成29年度

① 調査内容

- ・新幹線の円滑運行に向けた方策の調査・検討(中間駅の設置範囲、周辺整備の必要性など)

(3)平成30年度

① 調査内容

- ・道路で整備した場合の費用便益分析調査

【調査結果】

- ・新幹線単線 総事業費 6,860億円
- 道路2車線 総事業費 6,900億円
- ・新幹線(単線B/C 1.19)、道路(2車線B/C 1.27)ともに整備費用に比べて便益が高くなる。

(4)令和元年度

① 調査内容

- ・新幹線及び道路で整備された場合における経済波及効果(／年)

【調査結果】

- ・大分県(253億円)、愛媛県(150.8億円)、全国(1,114億円)において経済波及効果がある。
- ・新幹線と道路で整備した場合の移動時間の変化
新幹線:大分-松山間 238分→38分
大分-高松間 237分→78分
大分-大阪間 234分→136分

- 高速道路:大分-松山間 265分→167分
- 大分-高松間 360分→262分
- 大分-大阪間 486分→388分

(5)令和2年度

① 調査内容1

- ・豊予海峡ルートが整備された場合の災害時のリダンダンシー効果調査 (H30西日本豪雨をモデルケースに九州と九州外の人流・物流について調査)

【調査結果】

- ・旅客量減少に係る経済損失
→損失を補填し、且つ24.6億円のプラス効果
- ・物流コストの上昇に係る経済損失
→損失を補填し、且つ216億円のプラス効果

▽参考1 令和2年度調査業務報告書



② 調査内容2

- ・スーパー・メガリージョンと九州・四国の将来の高速交通網が全国にもたらす効果に関する調査 (新規海峡ルートが無いケース)

【調査結果】

- 大分からの4時間交流人口
- ・現況 1,000万人 ⇒ 整備後 3,500万人

(6)令和3年度

① 調査内容1

・スーパー・メガリージョンと豊予海峡ルートに関する調査（豊予海峡ルートが有るケース）

【調査結果】

- ・所要時間：東京駅－大分駅間 6.2h→3.4h
（東京・大分が日帰り圏内になる）
- ・4時間圏域の交流人口：1,000万人→5,800万人
- ・交流圏域：現状の岡山から東京まで拡大
九州は九州本土全域に拡大

② 調査内容2

・民間活力で建設する場合の検討として、前提となる諸条件（実施手順、法的根拠等）を収集・整理

③ 調査内容3(京都大学への委託事業)

豊予海峡ルートの実現による経済的・社会的効果の分析。具体的には次の通り。

- ・マクロ経済効果：豊予海峡ルートが、我が国のGDP等に与えるマクロ経済的効果の推計
- ・地域経済効果：豊予海峡ルートが、地域の生産力及び人口分布に与える効果の推計
- ・その他関連する提言等

2. シンポジウム

(1)平成29年度

○シンポジウム名

「未来を創造する豊予海峡ルート」

○平成29年5月23日(火)コンパルホール

○参加者467名

○シンポジウム内容

①基調講演

講師1：中村 英夫(東京都市大学名誉総長)

講師2：佐藤 健(長野県飯田市副市長)

②大分市調査業務委託 概要説明

③パネルディスカッション

・テーマ

「豊予海峡ルートの実現に向けて」

・コーディネーター

吉村 充功(日本文理大学工学部建築学科教授)

・パネリスト

藤本 貴也(日本道路交通情報センター副理事長)

姫野 清高(大分商工会議所会頭)

高石 淳(愛媛県企画振興部地域振興局長)

高門 清彦(愛媛県伊方町長)

土田 宏道(大分県企画振興部観光・地域局参事監)

佐藤 樹一郎(大分市長)

▽参考2 平成29年度シンポジウムの様子



(2)令和元年度

○シンポジウム名

「豊予海峡みらいづくりシンポジウム

～新たな国土軸の構築に向けた交流圏域の形成～」

○令和2年2月12日(水)コンパルホール

○参加者345名

○シンポジウム内容

①基調講演

講師1:奥野 信宏(国土交通省国土審議会会長)

講師2:藤本 貴也

(JAPIC 国土・未来プロジェクト研究会委員長)

講師3:岸 弘之(国土交通省国土政策局計画官)

②パネルディスカッション

・テーマ

「豊予海峡ルート整備に向けた愛媛と大分の

今後の交流について」

・コーディネーター

吉村 充功(日本文理大学工学部建築学科教授)

・コメンテーター

木村 俊介

(明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授)

・パネリスト

丸川 裕之(JAPIC専務理事)

橋本 均(大分商工会議所・大分経済同友会)

山本 泰士(愛媛県企画振興部地域振興局長)

高門 清彦(愛媛県伊方町長)

平川 暢教(大分県中部振興局地域振興部長)

佐藤 樹一郎(大分市長)

▽参考3 令和元年度シンポジウムの様子



(3)令和3年度

○シンポジウム名

国土強靱化シンポジウム

「未来をツナグ 世界とツナガル

～豊予海峡ルートの実現をめざして～」

○令和3年8月9日(月・祝)ホルトホール

○会場参加者168名、WEB 参加者83名、
計251名。

○日本青年会議所と大分市の共催

○大分県知事来賓挨拶

○シンポジウム内容

①基調講演

家田 仁(政策研究大学院大学特別教授)

②パネルディスカッション第1部

・テーマ

「豊予海峡ルートと整備新幹線構想～大分の
暮らしの未来～」

・モデレータ

岡野 秀之(九州経済調査協会事業開発部長)

・パネリスト

遠藤 健人(大分県企画振興部参事監
兼交通政策課長)

桑野 和泉(ツーリズムおおいた筆頭副会長)

豊田 啓勤(日本青年会議所国家グループ
国土強靱化委員会委員長)

上野 大輝(大分工業高等専門学校5年生)

③パネルディスカッション第2部

・テーマ

「日本列島がつながる未来～愛媛県と大分県の
持続可能なまちづくり～」

・モデレータ

松永 昭吾(大分工業高等専門学校非常勤講師、
株サザンテック)

・パネリスト

高門 清彦(愛媛県伊方町長)

藤井 大輔(愛媛県企画振興部政策企画局長)

中根 竜(日本青年会議所大分ブロック協議会会長)

野口 和範(日本青年会議所愛媛ブロック協議会会長)

喜見 優樹(大分工業高等専門学校5年生)
佐藤 樹一郎(大分市長)

▽参考4 令和3年度シンポジウムの様子



3. 豊予海峡ルート推進に係る勉強会

(1)令和元年度

① 第1回勉強会

○8月28日(水)大分市役所本庁舎8階大会議室

○議事

①これまでの主な取組

- ・豊予海峡ルート実現に向けた調査業務
- ・シンポジウム開催(平成29年5月23日)

②今後の取組に関する意見交換

○参加自治体

大分県:交通政策課、道路建設課、中部振興局

大分市:企画課、観光課、土木管理課、

都市計画課、都市交通対策課

② 第2回勉強会

○11月13日(水) 大分市役所本庁舎8階大会議室

○議事

①大分市の豊予海峡ルート推進に関するこれまでの
主な取組

②意見交換

- ・各県、市町の施策や考え方について

○参加自治体

【愛媛県側自治体】

愛媛県:交通対策課、道路建設課

八幡浜市:政策推進課、建設課、水産港湾課

伊方町:総合政策課、産業課

【大分県側自治体】

大分県:道路建設課、中部振興局

大分市:観光課、土木管理課、都市計画課、

都市交通対策課

(2)令和2年度

○新型コロナウイルス感染拡大のため書面開催

○参加自治体

【愛媛県側自治体】

愛媛県、松山市、大洲市、伊方町、八幡浜市

【大分県側自治体】

大分県、臼杵市、豊後大野市、竹田市、大分市

(3)令和3年度

○10月14日(木)八幡浜市役所5階大会議室

○10月15日(金)大洲八幡浜自動車道建設現場視察

○議事(10月14日)

①大分市の取組報告

・2019年度調査報告

(経済波及効果等に関する調査)

・2020年度調査報告

(災害時のリダンダンシー効果等に関する調査)

②九州の幹線道路網の整備状況について

(大分県による説明)

・中九州横断自動車道の整備状況

・東九州自動車道の整備状況

・その他の幹線道路(197号拡幅等)

③四国の幹線道路網の整備状況について

(愛媛県による説明)

・大洲八幡浜自動車道の整備状況

・愛媛県の高速度道路の整備状況

④その他

豊予海峡ルートが西日本や四国にもたらす効果について

⑤意見交換

○現地視察(10月15日)

・大洲八幡浜自動車道 視察

○参加自治体

【愛媛県側自治体】

愛媛県：地域政策課、道路建設課、八幡浜土木事務所、八幡浜支局総務県民室

大洲市：企画情報課

伊方町：観光商工課

八幡浜市：副市長、政策推進課、建設課、水産港湾課

【大分県側自治体】

大分県：道路建設課、交通政策課

臼杵市：都市デザイン課

竹田市：企画情報課

大分市：副市長、企画課、土木管理課、都市計画課

▽参考5 令和3年度豊予海峡ルート推進に係る勉強会(愛媛県八幡浜市 開催)



4. その他

(1)平成30年度

日経コンストラクション2019年1月号に、豊予海峡ルートの記事と市長インタビューが掲載

(2)令和2年度

○中学生からの豊予海峡ルートに対する要望書

・青年会議所と協働で、大分中学校に対し豊予海峡ルートの説明を行う(テレビ大分「ダッシュくん」番組企画)。

・大分中学校の生徒8人が、「大分の30年後を考える未来の授業」という中で、大分市から四国経由で関西まで、バーチャルの修学旅行を行い、その経路にあたる豊予海峡ルートについて研究し、市長へ提案書を提出。

▽参考6 大分中学校の生徒8名が要望書を提出



○九州経済調査協会の調査月報(2月号)に寄稿、WEB 講演

(3)令和3年度

○「豊予海峡ルート推進に関する論集」を作成

○豊予海峡ルートに関する講演

・福岡教育大学附属福岡中学校
・大分県立大分鶴崎高校